

部活動の先輩方との関わりの中で多くの事を学ぶことができた

A. H.

学習院大学 経済学部 経営学科 進学

水戸市立 国田義務教育学校 卒業

中学3年で高校の範囲に入り、先取りして学ぶことができるので「ここが自分は苦手なんだ!」といち早く気づくことができ、中学生のうちに大学受験までにどんなことを準備していけばいいのか意識することができます。学年団の先生方が受験指導にこれまで何度も携わってきたプロフェッショナルな方ばかりなので中学1年の頃から面談などで過去の先輩方のデータと比べて自分の成績からどれくらい頑張れば目標としている大学に入ることができるのか、より細かい現実的な数値を見ることができ、大学受験を早い段階で現実的に意識できました。(中高一貫校で高校受験がないことも大きいです)

高校2年の夏のコンクール。本番一週間前にコロナの影響で部活動が活動停止になってしまいどうしようもできない状況の中で、1学年上の先輩方が受験生で部活動の他に勉強などがあるにも関わらず、自分たちから声を上げてくださって、zoomなどを活用しその時できる最大限のことをしてくださいました。結果だけを見てしまうと悔しい結果になってしまいましたが、自分の中ではこの先一生忘れることのない思い出深い経験でした。高3の先輩方にとっては最後のコンクールであって、一番不安を感じていたかもしれないのに、それを微塵も感じさせることなく下の子達を常に元気づけていました。あの時はその言葉をかけて当たり前みたいな感じで見てしまっていたのですが、今思い返してみると高校生にそんなことができるのかって思うくらい先輩方は大人でそして自分の憧れる存在です。

私は吹奏楽部に所属していたので中学生の頃から高校生の先輩方と関わる機会が特にたくさんありました。学校生活の面では、文理選択や科目選択など人生の選択で重要なことについて色々な意見を聞くことができ、漠然ではなくきちんと自分の考えで選ぶことができました。学校生活以外でも中学生のうちに高校生の先輩方と関わることで社会での立ち振る舞い方を実践的に学ぶことができました。

大学進学後は部活動やアルバイトなど好きなことに一生懸命取り組み大学生活をより充実させたいです。そして、将来の夢であるデベロッパーになれるよう日々学びを極めていきたいです。